

みなとみらい大橋をみどりアップしました！

～横浜マラソンのスタート地点「はし」「みどり」の橋緑事業～



みなとみらい大橋は、みなとみらい21地区とヨコハマポートサイド地区を結ぶ、みなとみらい21地区の玄関口の一つとなっている橋梁です。
このたび、みなとみらいの街の魅力を高めていくため、橋梁上に新たに植栽を付加し、みなとみらい大通りの街路樹につながる、みどりのネットワークを形成しました。
なお、本橋は来る3月15日に開催される市民参加型フルマラソン「横浜マラソン2015」のスタート地点となっており、大会に華やかな彩りを添えることとなります。

○今回の緑化事業の特徴

- ・ 供用中の橋梁上に新たに植栽を付加
- ・ 花や葉色、形の組み合わせにより、リズム感を生み出し、一年を通してみどりや花を楽しむことができる植栽
- ・ 海に近い橋梁上のため、夏場に現地で実験し、暑さや寒さに加え、潮風や乾燥といった外的要因に対応した樹種・土壌を採用
(環境適合性が高い9樹種・保水性に優れた人工軽量土壌)



【植栽設置前写真】



【植栽設置後写真】



【事業の概要】

○みなとみらい大橋（平成9年7月竣工） 橋長：223m、総幅員：40m

- ・歩道植栽樹：幅 0.9m、延長 307m ・中央分離帯植栽樹：幅 2.2m、延長 212m
- ・緑化面積：合計 603m²（歩道：194m²、中央分離帯：409m²）
- ・総事業費：約 1.9 億円

【植栽】

植栽の選定は、橋梁上という特殊な環境を考慮して、暑さ寒さだけでなく、強風や潮風、乾燥に強い樹種を選定しました。また、みなとみらい21地区への玄関口の一つであることから、花の咲く樹種やカラーリーフなどを、橋梁の両端部にリズムを感じられるように配置しています。



（グミギルトエッジ）



（オタフクナンテン）



（ベニバナシャリンバイ）

【土壌】

軽量で保水性が高く、良好な排水性を備えた土壌を採用しています。主に屋上緑化などに採用されている土壌です。



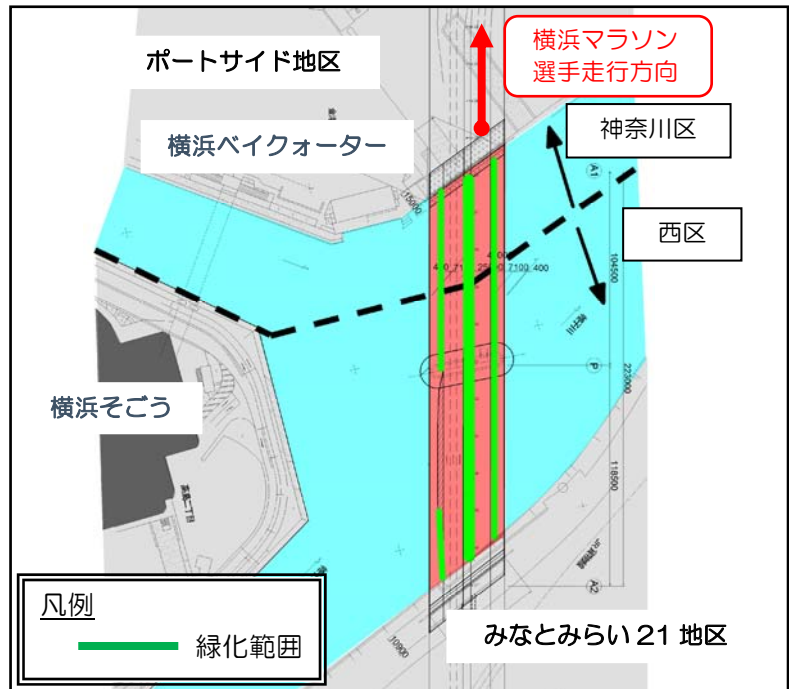
保水性に優れた人工軽量土壌

【案内図】



本事業の緑化整備は、横浜みどり税を財源の一部とした「横浜みどりアップ計画」により実施しています。
（基盤整備部分を除く）

【事業概要図】



※ 写真についてはデータをご提供できません。

お問合せ先

道路局 橋梁課長 菊地 健次 Tel 045-671-2752
環境創造局 公園緑地整備課長 倉知秀朗 Tel 045-671-2614
西区 西土木事務所副所長 浅野 泰史 Tel 045-242-1313